

ビジョン

～ 教育 ～

- ・ 高齢者の力を借りて学力向上
- ・ 空いている時間とスペースで学力向上と社会教育

現状・課題

- ・ 核家族化により子供と高齢者の触れ合う機会が減っている。
- ・ 教育経験のある高齢者のキャリアが活用されていない。
- ・ 民間教育の場が多い。
- ・ 市内に13箇所あるデイサービス事業所が、夕方以降空いている。
- ・ 放課後児童クラブでは、共働きの増加に伴い定員オーバー
→増築で対応している学校がある。
- ・ **学校の授業についていけない子供への学習支援が必要。**
～現在行われている寺子屋では、夏休み10日間と月1回の対応
では、十分とは言えない。
- ・ 知的好奇心を発掘できる環境が少ない。
- ・ 高齢者がやりがいを持つ場の必要性。

1

事例調査

- ・ (株)ウェルネス阪神「すとれっちる一む」
リハビリ特化型デイサービス営業時間外の
トレーニングジムへの活用
- ・ ふじみ野市寺子屋
公民館等で小学5、6年生と中学3年生に月一回
学習指導をする。
(講師は教職員退職者、文京学院大学教職課程の学生)
- ・ 沖縄県宜野座村
村営学習塾の民間委託「21世紀みらい」



部活動と村営塾で夢実現

21世紀みらい

宜野座村文化センター

- 1 宜野座村営塾「21世紀みらい」は、学校の近くの宜野座村文化センター内に設置されています。
- 2 大学進学を目指す生徒の**入試**学力を確実に育成します。
- 3 部活動の後も塾に通うことができます。

時 間：19:20～21:50
(1講座70分)

講座科目：英語・数学・国語

※夏期講習では理科・社会も含める。

学習内容：国公立大学への**受験対応**

学習形態：講師によるテキスト指導
ICTやICTや通信衛星講座

受講料：無 料

2

市民の役割

- ・ 子供 → 学力向上しつつ高齢者と触れ合う機会をはぐくむ。
デイサービス事業を行っているスペースに行くことにより社会学習にもなる。
- ・ 高齢者 → 子供に学習指導を行い学力を向上させる。
放課後一時預かりの場としても機能させる
- ・ デイサービス事業者 → 夕方空くスペースの貸し出し
- ・ 教育関係事業者及び地元企業にも参画してもらう
(民間教育との連携)
- ・ 会場設営の手伝いや周知活動

3

推進・実現の方法

- ・ デイサービス事業所の夕方空き時間を使った、デイサービス利用者及びボランティアによる子供への学習指導。
(高齢者の方にやりがいを持っていただきながら、学習指導の他、人生の先輩としてマナーや志教育もお願いできる)

- ・ 民間教育機関への学習指導ご協力依頼 (学習塾等)
- ・ 教えることが得意、好きな方 (元学校の先生等) へのご協力依頼
- ・ シルバー人材センターへご登録されている方で、教科指導や自由研究 (理科実験等) 指導をしていただける方へのご協力依頼
- ・ 市のHPやSNSを使って高校生・大学生に声をかけ、身近な先輩として良きアドバイザーになっていただく
- ・ ボランティアの報酬として、健康マイレージのポイント加算やパパママ応援カードのようなボランティア応援カードの配布があってもいい。